

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 13 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25284114

研究課題名(和文) 地域研究に基づく「世界史」教育の実践的研究

研究課題名(英文) Practical Study on "World History" Education bases on Area Studies

研究代表者

金井 光太郎 (Kanai, Kotaro)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：40143523

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究プロジェクトは、高等学校における地理歴史科目の「世界史」に焦点を当て、歴史教育を活性化させる方策を探ろうとした。その際、とくに東京外国語大学における地域研究の研究・教育実践を生かした、新しい「世界史」教育のあり方を探求するとともに、国際理解教育の観点から、「世界史」と「日本史」を接続した歴史教育の方法の検討をめざした。研究成果は、セミナーや学会での口頭報告、学会誌等への論文掲載のほか、最終報告書を作成して公開した。

研究成果の概要(英文)：This research project focused on "World History" of the subject on "Geography and History" in the high school and investigated how to make history education more active. It researched the way of a new "World History" education, especially making use of a study and educational practices of the Area Studies in Tokyo University of Foreign Studies. The project paid attention to the examination of the methods of the history education that connected "World History" and "History of Japan" from the viewpoint of international understanding. The results of the research were published in the final report, other than presentations in seminars and academic meetings, and published articles in academic journals.

研究分野：歴史学

キーワード：世界史教育 歴史教育 高大接続

1. 研究開始当初の背景

近年、高校における歴史教育、とりわけ「世界史」教育をめぐる問題は、その多くが大学に勤務する歴史研究者の間でも大きな関心を引くようになり、日本西洋史学会(第57回大会シンポジウムIV「歴史教育への現代的アプローチ—歴史学者、社会科教育学者、実践家の立場から」、2007年)や歴史学研究会(2009年度大会特設部会「社会科世界史60年」)のように、主要学会の年次大会でも議論の場が設けられている。また、関連する論文や記事が歴史学関係の研究誌に掲載されることも珍しくなくなった。例えば、『歴史評論』(No.749、2012年9月)は「いま、歴史教育は何をめざすのか」と題した特集を組み、その中で高校における「世界史」教育の問題を踏まえ、日本学術会議での議論を紹介している一方、『歴史学研究』(No.899、2012年11月)は、「特集新自由主義時代の歴史教育と歴史意識」で、現代の歴史意識と関連させて、歴史教育の問題を論じている。

本研究の研究代表者・分担者が所属する東京外国語大学と同大学海外事情研究所も、こうしたわが国の歴史教育の問題に関心を寄せ、その改善に取り組んできた。本研究は、その経験から着想されたものである。これまでの取り組みの概略を紹介しつつ、本研究の目的を説明することにした。

2. 研究の目的

本研究の目的は、高等学校における地理歴史科目としての「世界史」に焦点を当て、歴史教育を活性化させる方策を探ることにある。その際、とくに東京外国語大学における地域研究の研究・教育実践を生かした、新しい「世界史」教育のあり方を探求する。また、国際理解教育の観点から、「世界史」と「日本史」を接続した歴史教育の方法を検討する。

3. 研究の方法

東京外国語大学は「日本を含む世界諸地域の言語・文化・社会に関する教育と研究」を使命とする大学として、日本を含む各国史・地域史が専門の多数の教員を擁し、国際社会を理解する基礎の一つとして歴史教育を位置づけてきた。入学試験においても、2006年度の制度改革の折に、分離分割方式の導入を境に廃止された前期日程本学試験(2次試験)での「世界史」を復活させ、しかも必修化した。そして、2009年から本学入試での「世界史」必修化の主旨の説明を兼ね、海外事情研究所を中心に、主に高校教員を対象とする「世界史セミナー—歴史学の最前線」を開催してきた(2012年度からは、高大連携事業として社会連携事業室の主催)。幸い、必修化した以降の本学の「世界史」入試問題は基本的

な要点を押さえた良問として高校側から高く評価され、「世界史セミナー」にも毎年全国から150人前後の現役の高校教員の参加を得ることができている。

その一方で、こうした取り組みから見えてきた、高校・大学における歴史教育の問題点も少なくない。その打開策を一挙に見出すのはきわめて困難であって、現在のところ、いずれの提言も期待どおりの効果を生み出しているとはいいがたい。そこで、東京外国語大学における教育実践の経験を生かし、研究成果を広く社会に還元すべく本研究を企画することにした。

一方、グローバル化が進んだ現代世界では、国際理解教育に果たす歴史教育、とりわけ「世界史」教育の役割はますます増大しつつある。それゆえ、歴史的事実に基づいて世界の中の日本の位置を理解する必要性も増している。現行の高等学校の歴史教育の枠組みに沿って考えれば、「日本史」と「世界史」を接合させた歴史教育のあり方の再検討が求められる所以である。日本を含む地域研究の拠点である東京外国語大学の研究・教育実践は、ここでも生かすことができるであろう。

なお、本研究プロジェクトによって収集した各種アンケート、聞き取り調査等のデータは膨大な量にのぼり、諸般の事情も重なったため、この報告書作成時までには分析し尽くすことができなかつた。今夏を目指して完成させる予定である。

4. 研究成果

高等学校における「世界史」教育を中心とする歴史教育の実態把握と、高校教員の「世界史」教育に対する意識と取り組みを明らかにするため、各種のアンケート調査と聞き取り調査を実施した。また、研究会を5回、1国際シンポジウムを1回開催した。

(1) アンケート調査・聞き取り調査

「東京外国語大学入学者「世界史」履修アンケート」では、主に新入生を対象とし、2013年10月に744人、2014年4月に733人、2015年4月に669人、合計2146人から回答を得た。(2)「東京外国語大学海外事情研究所「夏期世界史セミナー」参加者アンケート」では、勤務校の記入があった回答が2013年7月に59人(55校)、2014年7月に40人(32校)、2015年7月に13人(13校)、合計112人から回答を得た。(3)「学生推薦高校教員アンケート」は、(1)の学生アンケートから判明した高校教員を対象として実施し、2013年度61人(59校)2014年4月度48人(48校)2015年度30人(30校)、合計139人から回答を得た。(2)(3)のアンケートの回答者の中から選び出した教員にはさらに聞き取り調査を実施し、その数は2013年10月～2015年5月までに93人(80校)にのぼった。

(2)研究会(所属・肩書きは開催当事)

第1回研究会(2013年7月31日(水)東京外国語大学海外事情研究所会議室)

「教科書から考える高校世界史教育研究と教育の架橋、山川出版社『新世界史』をめぐって」

報告者:小田中直樹(東北大学)

千葉敏之(東京外国語大学)

第2回研究会(2013年10月12日(土)東京外国語大学本郷サテライト4階セミナー室)

「『阪大史学』と『市民のための世界史』」

報告者:桃木至朗氏(大阪大学)

秋田茂氏(大阪大学)

第3回研究会(2014年6月28日(土)東京外国語大学本郷サテライト3階セミナー室)

「グローバル化時代の歴史教育一用語の暗記中心型から思考力育成型への転換」

報告者:油井大三郎(東京女子大学)

コメント:

加藤誠一郎(宮城県富谷高等学校)

小島庄吾(鹿児島県立鶴丸高等学校)

松本通孝(元・青山学院高等部、立正大学非常勤講師)

第4回研究会(2015年1月25日(土)東京外国語大学本郷サテライト3階セミナー室)

「世界史教科書との対話一東京書籍版『世界史B』をめぐって」

問題提起:栗井俊彦(岡山県立岡山朝日高等学校)

岡田健一郎(長野県立長野高等学校)

村田祐了(鷗友学園女子中学高等学校)

リプライ:東京書籍版『世界史B』執筆者

山本秀行(こども教育宝仙大学学長、お茶の水女子大学名誉教授)

本村凌二(早稲田大学特任教授、東京大学名誉教授)

西浜吉晴(前神奈川県立大和高等学校)

川島真(東京大学准教授)

第5回研究会(2016年3月5日(土)東京外国語大学海外事情研究所会議室)

「韓国の歴史教科書国定化をめぐって」

報告者

キム・ジェオク(全南中学校、全国教職員労働組合光州支部政策室長)

キム・スンジュン(パンリム小学校、全国教職員労働組合光州支部事務局長)

ムン・ミラ(光州教育希望ネットワーク事務局長、「歴史教科書国定化阻止光州市民対策委員会」執行委員長)

(3)国際シンポジウム

(2016年3月6日(日)東京外国語大学府中キャンパス227教室)

国際シンポジウム「世界史教育の可能性」

開会の挨拶金井光太郎(東京外国語大学/研究プロジェクト代表)

第1部 10:00~12:00

「市民教育としての社会科」

報告:青木建一郎(福井県立藤島高等学校)

コメント:金井光太郎(東京外国語大学)

第2部 13:00~15:00

「韓国の世界史教育と教科書国定化が及ぼす影響」(仮題)

報告:キム・ジェオク(大韓民国光州広域市全南中学校)

コメント:君島和彦(東京学芸大学名誉教授)

第3部 15:15~17:00

「高校における世界史教育に関する調査結果報告」

報告:鈴木茂(東京外国語大学)

コメント:小島昌吾(鹿児島県立出水高等学校)

吉嶺茂樹(北海道立友朋高等学校)

本研究プロジェクトの総括として開催したこの国際シンポジウムでは、第一部で独自教材の開発と利用を通じた、高校における実践例をめぐって議論し、「世界史」を軸として市民教育の可能性が確認できた。第2部では、韓国における教科書国定化の動きをめぐって歴史教科書の編纂と選定、利用をめぐる諸問題を議論し、教科書・教材を通じた歴史教育の国際比較の必要性が確認された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計29件)

金井光太郎、カリフォルニア大リバーサイド校に見る歴史授業のアクティブ化、「科学研究費基盤B 地域研究に基づく『世界史』教育の実践的研究 報告書」、査読無、第一巻、2016、94-102

DOI:なし

鈴木茂、「ブラジルにおける人種と社会」、「三色旗(慶應義塾大学)」、査読無、第804巻、2016、30-35

DOI:なし

金井光太郎、「アメリカン・システムのマニフェスト ヨーロッパ公法秩序とモンロー・ドクトリン」、「アメリカ研究」招待論文(査読無)、49号、2015年、1-19

DOI:なし

Kotaro Kanai, "The two Concepts of Constitutionalism and the Popular Sovereignty: A Comment on Prof. Gray's "Borderland in the Heartland" 『同志社アメリカ研究別冊』、査読無、22号、2015、69-73

DOI:なし

相馬保夫、「離散と抵抗:ズデーテン・ドイツ社会民主党亡命組織(16)」、東京外国語大学論集、査読無、第90号、2015、57-77

DOI:なし

鈴木茂、「高大連携の視点から見た大学の歴史教育 「ラテンアメリカ史入門」の実践報告」、「歴史学研究」、査読有、第936巻、2015、2-13

DOI:なし

篠原 琢、「『国民』の社会をどのように把握するか」、『日本歴史学協会年報』、査読無、第31巻、2015、59-65
DOI:なし

坂井 真紀子、「政治史にみるチャドの混乱～「南」の生成過程と「国家」の不安定化」、『クアドランテ 地域・文化・位置のための総合雑誌』、査読有、16巻、2014、77-94
DOI:なし

青山 弘之、「シリア紛争から3年：アサド政権と反体制勢力の暴力の応酬をめぐる「善」と「悪」」、『Asahi中東マガジン』、査読無、3月18日号、2014、1-1
DOI:<http://middleeast.asahi.com/report/2014031600001.html>

今井 昭夫、「ベトナムにおける戦争の追憶の「社会化」 「捕虜となった革命戦士博物館」の事例を通して」、『地域研究』、査読有、Vol.14 No.2、2014、112-125
DOI:なし

千葉 敏之、「ジャック・ルゴフの銀河系」、『思想』、査読無、1083号、2014、139-143
DOI:なし

青山 弘之、「アサド政権弱体化はテロ拡大に＝欧米などの武器支援は混乱助長」、『e-World』、査読無、4月24日号、2013、1-1
DOI:<http://janet.jw.jiji.com/images/janet/mail/pdf/2013/0424/aoyama.pdf>
DOI:なし

野本 京子、「日本農村における国際結婚 その推移と農村社会」、『韓国日本文化学会『日本語文化』、査読無、25集、2013、5-20
DOI:なし

野本 京子、「丸森の町から「3.11」以降の暮らしを考える」、『韓国国際交流財団『Koreana』、査読無、第20巻3号、2013、62-63
DOI:なし

相馬 保夫、「離散と抵抗：ズデーテン・ドイツ社会民主党亡命組織(12)」、『東京外国語大学論集』、査読無、第86号、2013、87-106
DOI:なし

相馬 保夫、「離散と抵抗：ズデーテン・ドイツ社会民主党亡命組織(13)」、『東京外国語大学論集』、査読無、第87号、2013、101-120
DOI:なし

今井 昭夫、「1972年クリスマス爆撃の追憶 ベトナム・ハノイ市カムティエン通りの被災者への聞き取り調査」、『東京外国語大学論集』、査読無、第86巻、2013、225-242
DOI:なし

フェルナンド・マリーアス著、久米 順子・大高 保二郎共訳、「エル・グレコ神話を問う：画家の資料と著述を解読しながら」、『早稲田大学美術史学会『美術史研究』、査読無、第51冊、2013、155-185
DOI:なし

〔学会発表〕(計31件)

Taku SHINOHARA, "Jewish Existence and Non-existence in the Memory Politics in Central Europe", Europe seen from abroad, Polish-Japan Research Seminar(国際学会)、2016年2月5日、International Culture Centre, Krakow(Poland)

Taku SHINOHARA, "Liberalism in German Historiography in Bohemia", Constructing a New Concept of European History from Historical Experiences of Borderlands, Part 1: Liberalism Reconsidered in the European Modernity(国際学会)、2016年03月25日、東京外国語大学(府中市)

久米 順子、「イベリア半島の中世美術史を考える その成立と発展、実証的作品研究」、『境界地域の歴史的経験の視点から構築する新しいヨーロッパ史概念』プロジェクト第2回研究会、2015年01月12日、東京外国語大学本郷サテライト

鈴木 茂、「高大連携の視点から見た大学教育 『ラテンアメリカ史入門』の実践報告」、『歴史学研究会総合部会主催「史料の面白さ、歴史教育の現場 『世界史史料』と『史料から考える世界史20講』」』、2015年01月31日、青山学院大学青山キャンパス

米谷 匡史、「無名・集団の文学 工作者・谷川雁とサークル文化活動」、『日本近代文学界』6月例会(招待講演)、2015年06月27日、清泉女子大学

金井 光太郎、「アメリカの洗練化とコスモポリタニズム」、『コスモポリタニズムと秩序形成 ブリテン世界における近代的イシュー』、2015年05月31日、東洋大学白山キャンパス

Kotaro KANAI, "The Making of a Frontier: Native American Violence and the Violence of the North American Frontier", The Second TOKYO-BUDAPEST Workshop "The Violence of Memory and the Memory of Violence" (国際学会)、2015年03月18日、Central European University, Budapest (Hungary)

Taku SHINOHARA, "Canonization of Jewish Memory in Central Europe", The Second TOKYO-BUDAPEST Workshop "The Violence of Memory and the Memory of Violence" (国際学会)、2015年03月18日、Central European University, Budapest (Hungary)

鈴木 茂、「『未履修』問題から10年後の高校世界史と大学」、『第65回日本西洋史学会』、2015年05月17日、富山大学(富山市)

青山 亨, "Social Integration in Majapahit as Seen in an Old Javanese Court Narrative", The Second international symposium of inter-asia research networks "state formation and social integration in pre-modern south and southeast asia : a comparative study of Asian society", 2014年03月09日、東京東洋文庫

千葉 敏之、「教皇の地理的身体」、日本西洋史学会 64 回大会、シンポジウム「回路としての教皇座 13 世紀ヨーロッパにおける教皇の統治」、2014 年 05 月 31 日～2014 年 06 月 01 日、立教大学

Toru Aoyama, "Relevansi film 'Opera Java' sebagai karya film cerita Ramayana dan potensi pemanfaatan naskah- naskah untuk pengembangan ekonomi kreatif", 15th International Symposium on the Manuscripts of Nusantara, held by MANASSA(招待講演)、2014 年 09 月 18 日、Universitas Andalas, Padang, West Sumatera, Indonesia

Noriko Nishino, Toru Aoyama, Jun Kimura, Takenori Nogami and Le Thi Lien, "Nishimura Project": The Oldest Shipwork found in Vietnam: Testimony to the Maritime Ceramic Route, International Symposium on Underwater Archaeology in Vietnam and Southeast Asia, 2014 年 10 月 14 日～2014 年 10 月 16 日, Quang Ngai City, Vietnam

坂井 真紀子、「半乾燥地帯における農牧民の生存戦略 タンザニア・ドドマ州の事例から」(『フォーラム アフリカ半乾燥地域における降雨変動リスクと生業の対応戦略』パネリスト)、日本アフリカ学会第 50 回学術大会、2013 年 05 月 25 日、東京大学駒場キャンパス

Sakai Makiko, Limits of Micro-Finance and "Bank of Affection" in Dodoma, Tanzania, The Symposium on African Moral Economy 2013, 2013.8.27, University of Dodoma(UDOM), Dodoma Prefecture, Tanzania

青山 弘之、「社会運動をあきらめた社会：『アラブの春』波及後のシリア」(分科会 C「開発途上国の社会運動と政治」)、日本比較政治学会、2013 年 06 月 22 日、神戸大学

野本 京子、「日本農村における国際結婚 その推移と農村社会」、韓国日本語文化学会、2013 年 06 月 01 日、韓国慶熙大学校(ソウルキャンパス)

青山 亨「東南アジアの「インド化」再考」、第 58 回国際東方学者会議、2013 年 05 月 24 日、東京日本教育会館

[図書](計 32 件)

吉田 ゆり子、『近世の家と女性』、山川出版社、2016、352 頁

長谷部 美佳・受田 弘之・青山 亨(編)、『多文化社会読本 多用なる世界、多用なる日本』東京外国語大学出版会、2016、263 頁、(青山亨担当箇所 112-128、相馬保夫担当箇所 20-30、篠原琢担当箇所 56-74)

野本 京子・坂本 恵、『日本をたどりなおす 29 の方法 国際日本研究入門』、東京外国語大学出版会、2016、192 頁(野本京子担当箇所 152-159)

南塚 信吾・秋田 茂・高澤 紀恵(責任

編集)、『新しく学ぶ西洋の歴史 アジアから考える』ミネルヴァ書房、2016、450 頁(篠原琢担当箇所 131-132, 156-157)

佐藤 公彦、集広社、『中国の反外国主義とナショナリズム アヘン戦争から朝鮮戦争まで』、2015、380 頁

大阪大学歴史教育研究会・公益財団法人史学会(編)、『教育が開く新しい歴史学』山川出版社、2015、総ページ数不明(青山亨担当箇所 104-121)

千葉 敏之、「画像史料とは何か」(10-25 頁)、吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編著(他 16 名)、東京外国語大学出版会、『画像史料論 世界史の読み方』、2014 年、326 頁

青山 亨「プランバナン寺院シウァ堂のラーマヤナ浮彫」(56-88 頁)、吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編著(他 16 名)、東京外国語大学出版会、『画像史料論 世界史の読み方』、2014 年、326 頁

相馬 保夫「記念碑に見るホロコーストの歴史と記憶 ポーランドとドイツの強制収容所跡記念碑・記念施設を中心に」(158-175 頁)、吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編著(他 16 名)、東京外国語大学出版会、『画像史料論 世界史の読み方』、2014 年、326 頁

久米 順子、「ベアトゥス写本挿絵にみる中世イベリア世界」(28-48 頁)、吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編著(他 16 名)、東京外国語大学出版会、『画像史料論 世界史の読み方』、2014 年、326 頁

佐々木 孝弘、「メアリー・フェイガンの墓 墓碑に刻まれた嘘とその意味するもの」(176-180 頁)、吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編著(他 16 名)、東京外国語大学出版会、『画像史料論 世界史の読み方』、2014 年、326 頁

千葉 敏之(128-163 頁を執筆)、羽田正、岸本美緒他 4 名、山川出版社、『新世界史』、2014 年、449 頁

千葉 敏之(40, 155-183 頁を執筆)、羽田正、岸本美緒他 4 名、山川出版社、『新世界史教授資料 授業実践編』、2014 年、452 頁

千葉 敏之(第 1 部第 1 章・2 章、第 2 部第 1 章・2 章・3 章を執筆)、木村靖二、西山 曉義編著(他 9 名)、山川出版社、2014 年、480 頁

青山 亨(第 2 章「歴史」、第 4 章「インド化」、第 18 章「イスラーム」、第 31 章「ポロドゥール」、第 43 章「スカルノとスハルト」、コラム「プラムディア」、各国概要「インドネシア」を執筆)、東京外国語大学東南アジア課程編、明石書店、2014 年、460 頁

今井 昭夫「「ホーおじさん教」と戦争の記憶 近年のベトナム北部の民衆宗教」(290 - 309 頁)、『戦争・災害と近代東アジアの民衆宗教』、有志舎、2014 年、313 頁

千葉 敏之、「聖画像の造像と破壊」(122-151 頁)、吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編著(他 16 名)、東京外国語大学出版会、『画像史料論 世界史の読み方』、2014 年、

326 頁

326 頁

吉田 ゆり子、「幻の木々を求めて」
(258-296 頁) 吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編著(他 16 名) 東京外国語大学出版会、
『画像史料論 世界史の読み方』、2014 年、
326 頁

篠原 琢、「バリケード上のアマゾネス
1848 年革命の女性像」(200-203 頁) 吉田ゆり子、八尾師誠、千葉敏之編著(他 16 名) 東京外国語大学出版会、
『画像史料論 世界史の読み方』、2014 年、326 頁

木村 靖二・千葉 敏之・西山暁義編著(ほか 9 名) 山川出版社、
『ドイツ史研究入門』2014、479 頁(千葉敏之担当分 3-12、14-64、299-318、331-352、459-464)

①鈴木 茂、歴史学研究会編、岩波書店、
『史料から考える世界史 20 講』、『黒い積荷』の往還 奴隷貿易からみる大西洋世界』、2014、198 頁(鈴木茂担当分 75-83)

②吉田 ゆり子、八尾師 誠、千葉 敏之編著(ほか 16 名) 東京外国語大学出版会、
『画像史料論 世界史の読み方』、2014、325 頁(青山亨担当分 56-88)

③青山 亨(共著) 今井昭夫(編集代表)、東京外国語大学東南アジア課程(編) 明石書店、
『東南アジアを知るための 50 章』、2014、450 頁

④久米 順子、(第 24 章「ミロ」、第 25 章「ダリ」、第 26 章「カタルーニャ美術館とロマネスク芸術」
、「世界遺産 6 パイ・ダ・ボイ(ボイ谷)のカタルニャ・ロマネスク様式教会群等 7 項目を執筆」、164-182) 明石書店、2013 年、329 頁

〔その他〕

地域研究に基づく「世界史」教育の実践的研究 H P

http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ifa/sek_aishi/s_top.html

世界史セミナー H P

<http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ifa/whseminar.html>

国際研究集会

「韓国の歴史教科書国定化をめくって」

2016 年 03 月 05 日、東京外国語大学

「世界史教育の可能性」、2016 年 03 月 06 日、東京外国語大学

6. 研究組織

(1) 研究代表者

金井 光太郎 (KANAI, Kotaro)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：40143523

(2) 研究分担者

鈴木 茂 (SUZUKI, Shigeru)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：101612950

千葉 敏之 (CHIBA, Toshiyuki)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：20345242

吉田 ゆり子 (YOSHIDA, Yuriko)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：50196888

青山 亨 (AOYAMA, Toru)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：90274810

(3) 連携研究者

小松 久男 (KOMATSU, Hisao)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：30138622

相馬 保夫 (SOMA, Yasuo)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：90206673

岩崎 稔 (IWASAKI, Minoru)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：10201948

米谷 匡史 (YONETANI, Masafumi)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：80251312

野本 京子 (NOMOTO, Kyoko)

東京外国語大学・大学院国際日本学研究院・教授

研究者番号：90208281

今井 昭夫 (IMAI, Akio)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：20203284

青山 弘之 (AOYAMA, Hiroyuki)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：60450516

佐々木 孝弘 (SASAKI, Takahiro)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授 研究者番号：10225873

篠原 琢 (SHINOHARA, Taku)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：20251564

久米 順子 (KUME, Junko)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

研究者番号：60570645

佐藤 公彦 (SATO, Kimihiko)

東京外国語大学・名誉教授

研究者番号：10178717